



目が、二つ並んでいるのはなぜ

見た物を、立体的に見ることができる

わたしたちは、目が二つ並んでいることで、見ている物の場所を、正しくとらえたり、目に見える広さを広くしたり、体のつり合いをとったりすることができます。

また、目が二つ並んでいることで、見る物の、おくゆきや深み、厚みなどを感じとることができ、物を立体的に見ることができるのです。

左右の目で見た二つの像は、少しずれている

わたしたちが物を見るとき、物が立体的に見えるのは、両目（二つの目）で見ているためです。両目で見ることにより、距離感（遠い近いがわかる感覚）が生まれるのです。

左右の目の、ひとみ（黒目の中の真っ黒い穴）の間の距離は、平均62ミリメートルあり、右の目にうつった像と、左の目にうつった像は、位置が同じではなく、少し、見え方のずれを生じます。この左右の目で見た、少しずれた二つの像が、それぞれの視神経を通り、大脳に伝えられます。それが、大脳のはたらきによって一つの像になり、立体的に、物が見えるようになるのです。（監修・保志 宏）

〔実験〕

紙に、小さな円をかいて、その中に、点をうってみましょう。
最初は片目を閉じて、次に両目を開けて、やってみましょう。
片目を閉じてやると、なかなかできませんが、両方の目を開けてやると、簡単にできますね。

